

横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定委員会（第5回）

議事要旨

議 題	応募団体に対する面接審査（2団体）
日 時	平成23年11月24日（木）17時45分から19時45分まで
開 催 場 所	横浜市庁舎8階 8S会議室
出 席 者	【委員】 伊東委員、米倉委員、深澤委員、塩崎委員、上甲委員 【事務局】 森障害支援課長、古川係長、藤井係長、森職員、市川職員、原口職員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開
傍聴者（定員）	1名（5名）
議 事	<p>1 配布資料説明</p> <p>事務局から、「採点表」及び採点方法について、各委員に説明した。</p> <p>2 応募団体（中区生活支援センター指定管理者共同事業体）のプレゼンテーション及び委員からのヒアリング</p> <p>（主なヒアリング内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中区における訪問のニーズは、どのようなものがあると把握しているのか。 ・ 中区に生活支援センターが設置されることで生まれるメリットとして、どのようなことが考えられるのか。 ・ 「社会復帰」、「社会参加」ということを、どのように捉えているのか。 ・ 「緊急支援」、「潜在的な利用者の掘り起こしと支援方法」とあるが、具体的な支援内容はどのようなものを考えているのか。 ・ 医師を含むチームでアウトリーチ支援を行うという説明があったが、訪問先で医療を行うことを想定しているのか。 ・ こころの健康政策構想実現会議と生活支援センターとの関わりをどのように考えているのか。 ・ 3障害一体サービスの提供を訴えているが、具体的には精神障害者にとってどのようなメリットがあると考えているのか。 ・ 3法人が共同して事業を行うことについて、法的根拠をどこに求めるのか。 ・ 人件費を抑えている印象を受けるが、どのような取り組みを行うのか。 <p>3 応募団体（財団法人紫雲会）のプレゼンテーション及び委員からのヒアリング</p> <p>（主なヒアリング内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの実績を踏まえ、アウトリーチ支援における課題をどのように把握しているのか。また、中区においては、どのような課題があると想定しているのか。 ・ アウトリーチ支援における人員・予算面における工夫について、何か考えていることはあるのか。 ・ 寿地区とは距離があるが、これに対する工夫として何か考えていることはあるのか。 ・ 現在指定管理者として生活支援センターを運営している緑区において、家族会との関わりはいはどの程度あるのか。また、中区においては、どのような姿勢で関わっていくのか。 ・ 中区の自立支援協議会について、どのように把握しているのか。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 「ワンストップサービスの実現」とあるが、具体的には、どのような支援内容を想定しているのか。・ ケアマネジメントの中核施設の役割を担うという説明があったが、具体的には、どのような規模・内容を想定しているのか。・ 地域活動ホームとの一体的な運営について、どのような考え方をしているのか。・ 他の法人と連携して運営を行う場合に生じる困難性を克服する方法について、なにか構想はあるのか。・ 法人単位の財政見通しについて、どのように考えているのか。 |
|--|---|